

遺留品返還式実施 ―大豊町出身戦没者の財布―

2月2日(月)午前10時より、高知県護国神社済美館において、大豊町出身戦没者の山口友四郎さんの遺留品返還式が行われた。



返還されたのは財布一点で、日本兵の遺留品返還活動を行っている米国の「OBONソサエティ」によると、ノースカロライナ州在住のリッコ・レイシーさんの義理の父が経営していた店に何年も前に持ち込まれたも

のだそう、リッコさんの義理の父が「戦時中の日本人の持ち物だったのではないか」と思ったことをきっかけに、リッコさんがOBONソサエティに調査を託したもの。
日本遺族会から調査依頼を受けた当会は、山口友四郎さんの出身地、大豊町大杉地区遺族会の岩崎憲郎地区長に搜索の協力を依頼し、大豊町役場等のご協力を得て、ご遺族である長野玲子様と連絡を取ることができた。

返還式には、長野さんの代理で友四郎さんの姪にあたる中村佐土子さんと、長野さんの姪の吉本詠理さんが出席し、大石会長、竹内、藤戸両副会長が見守る中、一同を代表して護国神社別役重具宮司より遺留品の財布をご遺族に返還された。



また、これまでこの財布を保管していたリッコさん家族からは、「長い年月を経て、皆様のお心に安らぎがもたらされますよう、心よりお祈り申し上げます。」というメッセージが添えられており、当会の大石会長からご遺族に手渡された。



返還に際し、ご協力をいただいた岩崎憲郎様と大豊町役場の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

高知県遺族会報

令和8年4月号掲載